学校番号	T3029

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	『高校世界史』（山川出版）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史という大きな枠組みを、関心を深めながら学習できるように、絵や図を用いて当時の人々の暮らしや心境を想像したり、国家や社会の成り立ちについて、比較を交えたりしながら学習します。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての素質・能力を育成することをめざす。

（１）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	諸地域の歴史的特質の形成	1　文明の成立と古代文明の特質 2　中央ユーラシアと東アジア世界 3　南アジア世界と東南アジア世界の展開 4　西アジアと地中海周辺の国家形成 5　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a: 世界各地で多様な支配観念が形成されたことを理解している。 b:古代文明や国家・社会・文化形成について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 諸地域の学習を振り返り、生業、身分、階級、王権、宗教、文化・思想などの学習の視点や方法について確認し、他の諸地域世界について、学習の視点や方法などのつながりを見出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) 感想文	観察(学習状況) プリント
	諸地域の交流・再編	6 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 7 ヨーロッパ世界の変容と展開 8 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 9 大交易・大交流の時代 10 アジアの諸帝国の繁栄 11 近世ヨーロッパ世界の動向	a: イスラーム世界の拡大、中国王朝の変遷と周辺地域との関係性、ヨーロッパ社会の変化と文化の特徴の多様性について理解している。 b: イスラーム世界の拡大、中国王朝の変遷と周辺地域との関係性、中世から近世に至るヨーロッパ社会の交易網の拡大や「世界の一体化」の進展について、各地域の状況を関連付け、多面的・多角的に考察し表現している。 c: ８世紀以降のイスラーム世界・宋から清に至る中国・中世から近世に至るヨーロッパ社会の変遷が持つ意味を、社会経済的位置づけの観点から比較、関連付けて追究し、何がどこまで明らかになったか、何を学ばなければならないかを自身で確認しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) 感想文	観察(学習状況) プリント

後期	諸地域の結合・変容	12 産業革命と環大西洋革命 13 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 14 アジア諸地域の動揺 15 帝国主義とアジアの民族運動 16 第一次世界大戦と世界の変容 17 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	a: 19 世紀から 20 世紀初めの歴史的事象とその関連性について理解している。 b: 19 世紀から 20 世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦と第二次世界大戦を多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 19 世紀から 20 世紀初めの歴史的事象について課題意識や見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） 感想文	観察（学習状況） プリント
	地球世界の課題	18 冷戦と第三世界の台頭 19 冷戦の終結と今日の世界	a: 冷戦の展開について分析し、どのような影響を与えたか理解している。 b: 冷戦の展開について多面的・多角的に考察している。 c: 冷戦期、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのか、主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） 感想文	観察（学習状況） プリント

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度